

みずしげんきこう
水資源機構「令和5年度 環境報告書」を作成しました

独立行政法人水資源機構は、令和4年度の事業活動に伴う環境保全の取組等をまとめた「令和5年度 環境報告書」を作成しました。

水資源機構では、業務の実施に当たって、環境保全への配慮や環境への負荷低減など、様々な取組を実施しています。

「令和5年度 環境報告書」には、水資源機構の環境方針、環境保全の取組体制、自然環境や貯水池水質の保全対策などの環境保全の取組の実施内容を掲載しています。

「令和5年度 環境報告書」は、本日より水資源機構のホームページでご覧いただけます。

水資源機構 環境報告書 検索



令和5年9月26日

独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、水資源記者クラブ、
埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構

住所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

電話：総務部広報課 船越、下島 048(600)6513

ダム事業部環境課 稲木、松浦

HP：<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/index.html>

「令和5年度 環境報告書」の概要

1. 環境報告書について

水資源機構は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（平成16年法律第77号）」（環境配慮促進法）に定められた特定事業者です。同法第9条第1項では、特定事業者は、毎事業年度、環境報告書を作成し、公表しなければならないとされています。

「令和5年度 環境報告書」は、同法に基づいて、令和4年度に機構が実施した環境保全の取組等について取りまとめたものです。

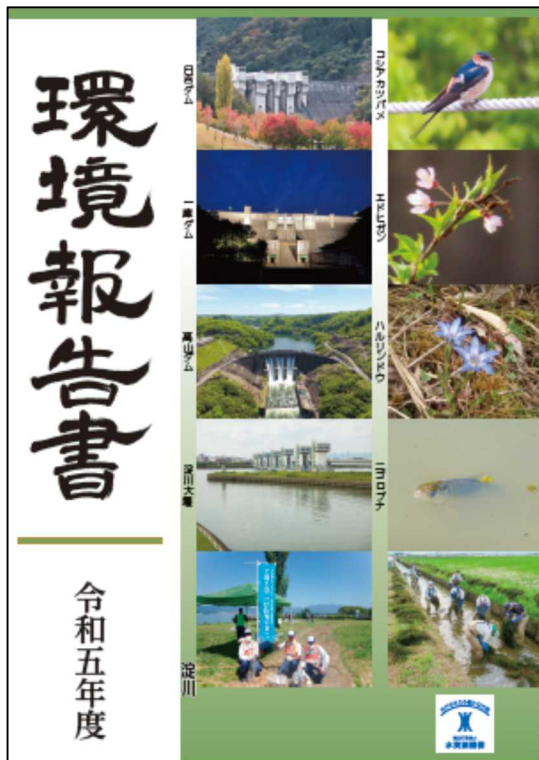
なお、水資源機構では、平成16年に「環境報告書2004」を作成し、以降、毎年度作成しています。

主な掲載内容は以下のとおりです。

	頁
1. 事業の概要、環境保全の方針・取組の体制	1-17
水資源機構の環境保全に対する方針・取組の体制について記載しています。	
2. 環境保全に配慮した取組	18-35
自然環境の保全に向けた取組と、水質改善に向けた取組について記載しています。	
3. 環境負荷低減の取組	36-46
温室効果ガス排出抑制の取組、再生可能エネルギーの活用、資源の再生、再利用、有害物質の管理について記載しています。	
4. 環境保全意識の向上	47-48
環境に対する知識・意識向上を図るために実施した、環境学習会、研修等について記載しています。	
5. 社会とのコミュニケーション	49-53
環境に関する情報の発信、地域に密着した施設・水辺空間、環境保全活動と地域交流について記載しています。	

2. より良い環境報告書とするための工夫

- 文字を大きくして読みやすくしています。
- 理解し易いよう、専門用語等に注釈をつけるようにしています。
- ARアプリダウンロード後、写真にスマートフォンをかざすと、AR動画を見ることができるようになっています。



表紙



内容

環境報告書の写真



クマタカのヒナ



オオサンショウウオ

AR アプリダウンロード後、写真にスマートフォンをかざすと、写真のクマタカ、オオサンショウウオが動き出します。

